



Press Information

< お知らせ >

VPR04-053

2004年11月15日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社

フォルクスワーゲン「ゴルフ」 2005 日本自動車殿堂「インポート・テクノロジーオブザイヤー」受賞

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(本社:愛知県豊橋市、代表取締役社長:梅野 勉)の人気コンパクトカー「ゴルフ」が、特定非営利活動法人 日本自動車殿堂(略称:JAHFA、会長:小口 泰平)が選ぶ「2005 JAHFA インポート・テクノロジーオブザイヤー」に選ばれ、15日(月)国立科学博物館(東京・上野)でとり行われた表彰式で受賞致しました。

今回「ゴルフ」が受賞した「2005 JAHFA インポート・テクノロジーオブザイヤー」は、今年日本国内で発表された輸入乗用車の中で、最も優れた技術を有する自動車に与えられるものです。

今回の JAHFA の審査では、「ゴルフ」の選定理由に下記の5項目をあげています。

【選定理由】

- 1、 乗り心地、操縦安定性に優れた新開発のサスペンション
- 2、 不快な騒音、振動を抑制した技術成果
- 3、 耐久性向上への技術成果
- 4、 徹底した安全への配慮と対策
- 5、 優れたパッケージングとデザイン

今年でデビュー30周年を迎えた「ゴルフ」は、1974年の誕生以降、モデルチェンジのたびごとに、その時々のお客様のニーズを反映し、あわせて最新のテクノロジーで造り上げられてきました。歴代に渡りフォルクスワーゲンの普遍的なデザイン哲学と人間工学に基づいた設計が継承されている「ゴルフ」は、その後も世界の自動車メーカーのベンチマークとして注目され続け、今年8月に樹立した世界累計2,300万台の販売実績を日々更新し続けています。

日本では1975年の初上陸以降、現在までに累計で50万台超が販売され、10年連続モデル別輸入車No.1となっています。また、今までのハッチバック、ワゴンのほかにも、4月には7人乗りのコンパクトミニバン「ゴルフ トゥーラン」を新たに追加。そして、6月には待望の5世代目「ゴルフ」も発売されました。全てにおいて刷新されたゴルフファミリーは、10月末までにゴルフが約6,000台、ゴルフ トゥーランが約3,000台販売されました。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 広報部

ガストナー tel. 03-5575-7364、池畑 tel. 03-5575-7347、中島 tel. 03-5575-7360 vw-pr@vqi.co.jp
<http://www.volkswagen-press.jp> (プレス専用サイト:未登録の方は下記新規登録用 URL から登録してください。)

http://www.volkswagen-press.jp/run/press/registration/pr_new.jsp (登録 URL)

お客様お問い合わせ先

フォルクスワーゲン カスタマー センター tel. 0070-800-551133